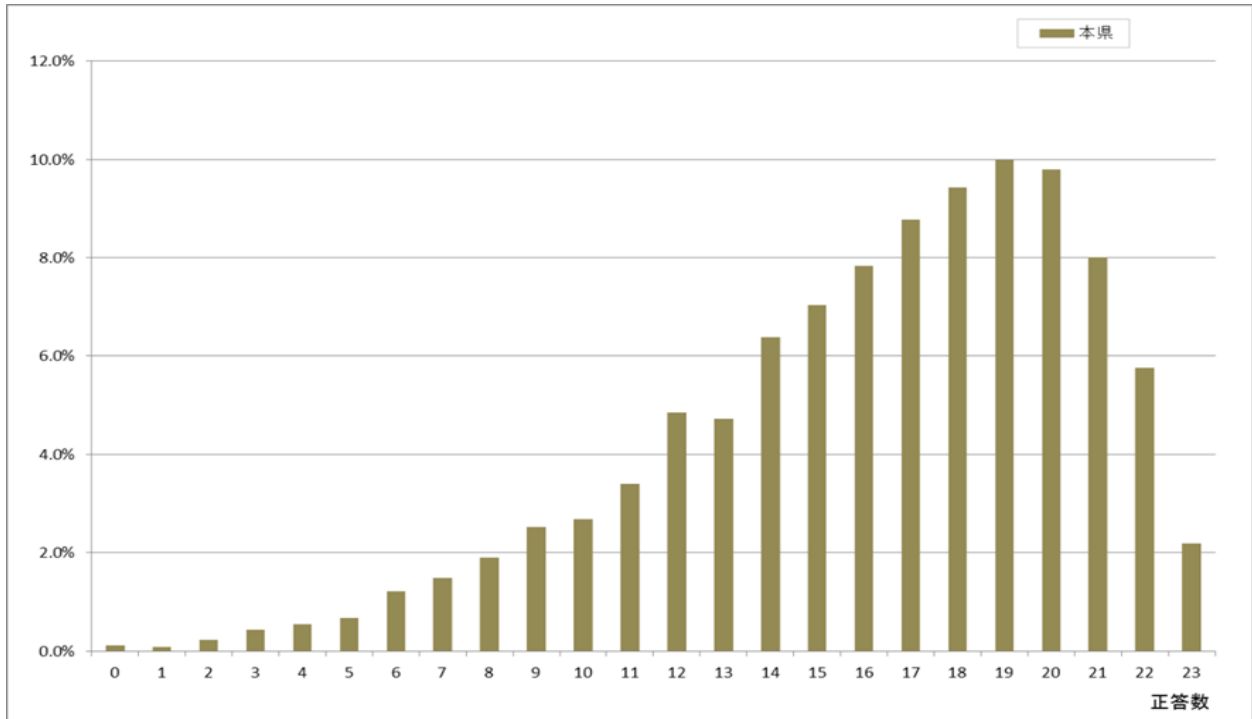


## 平成29年度山梨県学力把握調査結果の分析〔中学校第2学年・国語〕

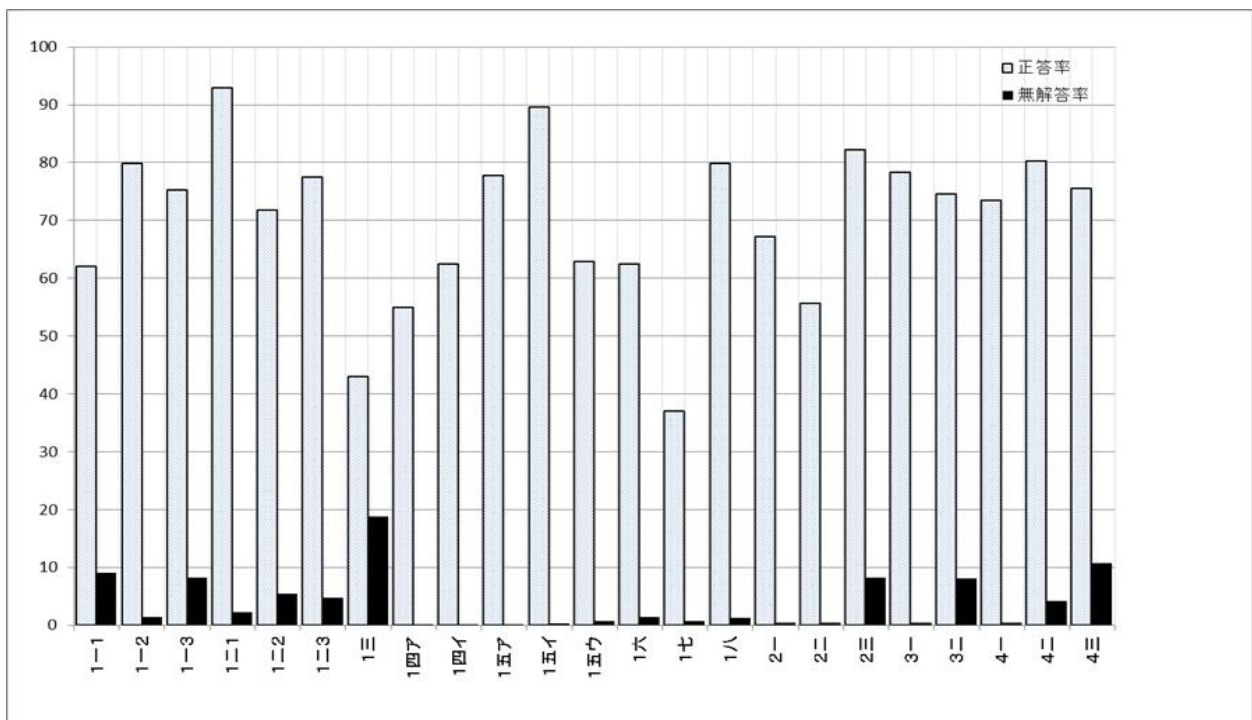
### 調査結果概況

調査人数	平均正答数/設問数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
6814人	16.2/23	70.3	17	4.41

【正答数分布グラフ】（横軸：正答数，縦軸：割合）



【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



## 設問ごとの解答状況

## 【解答類型票】

誤答や無解答率が高い設問に着目すると授業改善のヒントが見えてきます！

	設問番号	設問の概要	解答類型（割合％）※下線が正答					無解答
			1	2	3	4	9	
1	1-1	漢字を書く(天体をかんそくしてレポートを書く)	<u>62.1</u>	19.3	4.0		5.5	9.1
2	1-2	漢字を書く(みどりの大地を大切に作る)	<u>79.9</u>				18.8	1.4
3	1-3	漢字を書く(けわしい道のりを歩く)	<u>75.3</u>				16.5	8.2
4	1二1	漢字を読む(二人の話には矛盾がある)	<u>92.9</u>	0.2	1.1		3.6	2.2
5	1二2	漢字を読む(客をバスで送迎する)	<u>71.8</u>	17.0	0.1		5.6	5.5
6	1二3	漢字を読む(緩いカーブを曲がる)	<u>77.5</u>				17.8	4.7
7	1三	「をりとりて」を「おりとりて」と書き直す	<u>43.0</u>				38.3	18.8
8	1四ア	「耳につく」の意味として適切なものを選択する	16.6	12.8	15.2	<u>54.9</u>	0.3	0.2
9	1四イ	「きまりが悪くなって」の意味として適切なものを選択する	13.8	<u>62.5</u>	11.6	11.6	0.3	0.2
10	1五ア	適切な語句(修めた)を選択する	7.5	1.5	<u>77.8</u>	12.7	0.3	0.2
11	1五イ	適切な接頭語(未)を選択する	<u>89.6</u>	4.4	2.0	3.4	0.3	0.3
12	1五ウ	適切なことわざ(急がば回れ)を選択する	13.9	17.1	4.9	<u>62.9</u>	0.4	0.8
13	1六	指示語が指し示す内容を書く	<u>62.4</u>				36.2	1.4
14	1七	「渡り鳥が、はるか北の空へと飛んでいく」という文の文節の数を書く	<u>37.0</u>				62.3	0.7
15	1八	「ない」の主語として「風が」を一文節で選択する	<u>79.9</u>				18.8	1.3
16	2-1	スピーチメモの「伝えたいこと」の内容を選択する	<u>67.2</u>	25.6	4.2	2.3	0.2	0.4
17	2二	スピーチ中の言葉「俳人」を「俳句を作る人」と言い換えることによる効果として、適切でないものを選択する	8.1	18.2	<u>55.6</u>	17.3	0.3	0.5
18	2三	スピーチの話し始めの「問いかけ」の部分を書く	<u>82.2</u>	8.1	0.7		0.8	8.2
19	3-1	説明に書く必要がある事柄を選択する	13.2	6.4	<u>78.3</u>	1.5	0.3	0.4
20	3二	図を使い、「土台」の仕組みについて、条件に従って説明を書く	<u>74.5</u>	0.0	0.9	14.0	2.5	8.1
21	4-1	「小さいなりにふところが深く」の様子を読み取る	6.8	<u>73.4</u>	15.2	3.8	0.3	0.5
22	4二	会話の主が「少年」か「父親」かを読み取る	<u>80.2</u>				15.6	4.2
23	4三	物語の終わり方の効果を考えて書く	<u>75.5</u>	0.7	1.3	4.5	7.3	10.7

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

正答率の上昇は、どのような取組の成果でしょうか。

過去調査と比べて、正答率は上昇したけれども、依然として正答率が低い設問に対して、これからどのような取組が考えられるでしょうか。

設問番号	設問の概要	領域等	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率(%)	県正答率(%)	H29-過去(ポイント)
1-1	漢字を書く(天体をかんそくしてレポートを書く)	伝国	H23	68.4	62.1	-6.3
1-2	漢字を書く(みどりの大地を大切に)	伝国	H25	82.7	79.9	-2.8
1-3	漢字を書く(けわしい道のりを歩く)	伝国	H24	65.8	75.3	9.5
1-2-1	漢字を読む(二人の話には矛盾がある)	伝国	H24	93.8	92.9	-0.9
1-2-2	漢字を読む(客をバスで送迎する)	伝国	H26	64.0	71.8	7.8
1-2-3	漢字を読む(緩いカーブを曲がる)	伝国	H25	76.6	77.5	0.9
1-3	「をりとりて」を「おりとりて」と書き直す	伝国	H26	56.9	43.0	-13.9
1-4ア	「耳につく」の意味として適切なものを選択する	伝国	H25	43.1	54.9	11.8
1-4イ	「きまりが悪くなって」の意味として適切なものを選択する	伝国	H25	60.0	62.5	2.5
1-5ア	適切な語句(修めた)を選択する	伝国	H24	75.5	77.8	2.3
1-5イ	適切な接頭語(未)を選択する	伝国	H24	80.6	89.6	9.0
1-5ウ	適切なことわざ(急がば回れ)を選択する	伝国	H26	58.3	62.9	4.6
1-6	指示語が指し示す内容を書く	伝国	H24	60.2	62.4	2.2
1-7	「渡り鳥が、はるか北の空へと飛んでいく」という文の文節の数を書く	伝国	H25	39.7	37.0	-2.7
1-8	「ない」の主語として「風が」を一文節で選択する	伝国	H26	78.2	79.9	1.7
2-1	スピーチメモの「伝えたいこと」の内容を選択する	A	H25	60.2	67.2	7.0
2-2	スピーチ中の言葉「俳人」を「俳句を作る人」と言い換えることによる効果として、適切でないものを選択する	A	H25	57.2	55.6	-1.6
2-3	スピーチの話し始めの「問いかけ」の部分を書く	A	H25	85.6	82.2	-3.4
3-1	説明に書く必要がある事柄を選択する	B	H25	79.2	78.3	-0.9
3-2	図を使い、「土台」の仕組みについて、条件に従って説明を書く	B	H25	71.4	74.5	3.1
4-1	「小さいなりにふところが深く」の様子を読み取る	C	H23	73.6	73.4	-0.2
4-2	会話の主が「少年」か「父親」かを読み取る	C	H23	83.2	80.2	-3.0
4-3	物語の終わり方の効果を考えて書く	C	H23	50.1	75.5	25.4

<領域等> A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと 伝国：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 課題のある設問の分析

この設問を課題として挙げた理由  
・過去調査と比べて、正答率が最も下がった。

<伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項>

問1三

をりとりてはらりとおもきすすきかな

次の現代仮名遣いに直し、全てのひらがなで書きなさい。  
の俳句のをりとりてを

- 正答 おりとりて
- 正答率 43.0% (56.9% H26)
- 無解答率 18.8%
- 誤答について  
 類型9 おいといて をとって 等  
**38.3%**

- ・「をりとりて はらりとおもきすすきかな」と、俳句を「五・七・五」の音に分けて読むことができない。
- ・「すすき」という季語や「おもき（重き）」という言葉に着目して、俳句に詠まれた情景や場面（すすきを折り取る）を想像して読むことができない。
- ・歴史的仮名遣いについて、ワ行の「ゐ・ゑ・を」を「い・え・お」と読むことを理解していない。
- ・現代仮名遣いと現代語訳を間違えて捉えている。
- ・文語のきまりについての指導は行われているが、繰り返し音読したり情景を想像したりして古典を読む指導の充実を図る必要がある。

## 授業改善のポイント

繰り返し音読したり情景を想像したりして、古典の世界に触れながら文語のきまりを理解するよう指導する。

### これまでの学習で

この学習で必要となる内容や考え方は何でしょうか。

この設問は、俳句や古文の知識と、言葉から情景を読み取る力が求められます。

小学校における俳句の学習や古典作品の音読の学習の上に、中学校では、第1学年の古文で、文語のきまり（仮名遣い、古語等）を学びます。文語のきまりを知識として覚えるだけでなく、作品を繰り返し声に出して読み、言葉の響きやリズムを味わいながら、古典の文章に読み慣れるよう指導することが大切です。

### これからの学習で

これから学習するどの単元と関連があるでしょうか。学習した内容や考え方は、今後どの学習で生かされるでしょうか。

第2学年、第3学年の古典の学習においても、作品の音読や朗読を通してリズムを味わい、情景や人物の思いを想像しながら読み味わうことが大切です。

また、第2学年の教科書「短歌を味わう」や第3学年の「俳句を味わう」で、短歌や俳句を鑑賞したり批評したりする学習が考えられます。『ふるさと山梨』の⑤「山梨の言葉」を参考に、短歌や俳句に使われている言葉を調べたり、言葉から情景を思い浮かべたりして作品を読み、グループで考えを交流する活動が有効です。